



僧侶150人 震災供養 浅草寺

東日本大震災の犠牲者を悼む「百僧法要」が二十五日、東京都台東区の浅草寺で行われ、浅草仏教会と下谷仏教会の僧侶約百五十人と、犠牲者の遺族ら約三百人が、雷門から本堂まで練り歩いた。写真、梅津忠之撮影。

八月末に全国各地で行われる地藏盆に合わせ、浅草仏教会が主催した。江東区で避難生活を送る井坂義男さん(六五)は「福島県富岡町」は友人の霊を弔うため参加。「原発事故もあり、地元ではろくな供

養もしてあげられなかった」と目を潤ませた。

「東日本大震災物故者諸霊位」と書かれた大きな位牌を置いた焼香台も設けられ、約三時間で三千人が手を合わせた。